

3 芽吹き力賞

今回の芽吹き力賞には、各地から7点の応募があり、自身の経験に基づく独自性の高い農業に取り組む若手農業者が多く見られた。それぞれが理想とする農業の実現を目指し、着実な規模拡大を図るだけでなく、独創的かつ効果的なブランド化を行うなど、今後の発展が期待される。

審査は「活動の動機と着想、課題解決に向けた創意工夫」の評価を基本に、推進体制や活動の成果、今後の発展性といった観点を加えて行い、書類審査及び現地審査を経て各賞を選出した。

【栃木県知事賞】

◆益子智史（鹿沼市）

●活動の特色

- ・Uターン就農後、儲かるにらの企業的経営を目指して、栽培技術の向上、出荷調整作業の省力化、栽培面積の拡大、雇用労働力の確保など優先順位をつけながら一体的に取り組み、経営を発展させてきた。
- ・新技術・装備の導入効果は地域生産者にフィードバックしたり、他産地の若手生産者と情報交換したりしている。

●受賞のポイント

前向きで旺盛なチャレンジ精神、部会トップクラスの収量を連続で達成しており、規模拡大しながらも高品質を維持し、機械の導入や雇用の活用により労働時間を短縮するなど労働生産性を向上させた点、ICT 技術の積極的な導入及び地域へのフィードバックなど今後の産地の維持、発展への貢献が大いに期待される点が高く評価された。



益子智史 氏（左）と従業員



にら出荷調整作業の様子